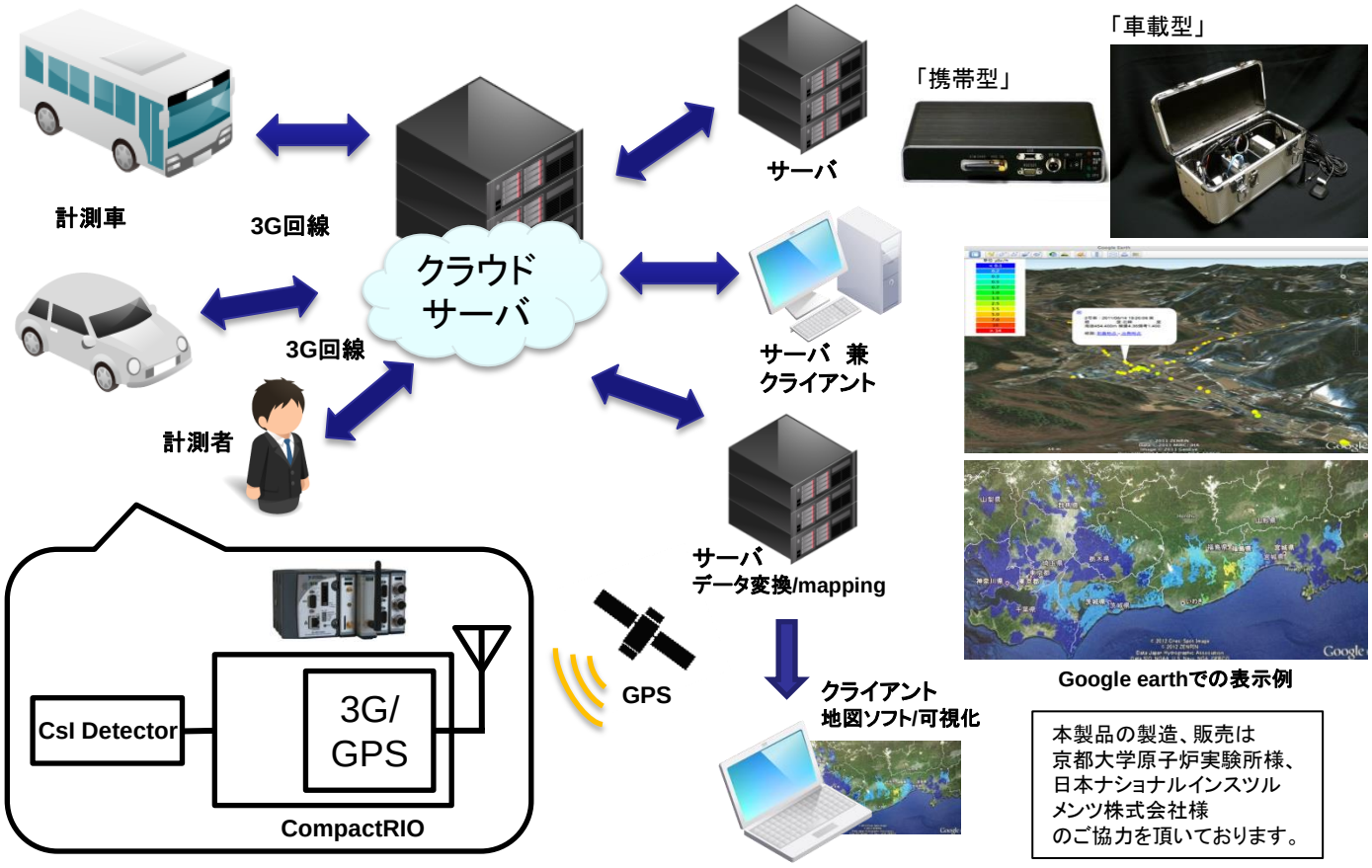
空間線量率をリアルタイムで可視化

GPS連動型放射線量自動計測システム　KURAMA-Ⅱ

放射線自動計測 | 無線による自動化 | リアルタイムに可視化



本製品の製造、販売は
京都大学原子炉実験所様、
日本ナショナルインスツル
メンツ株式会社様
のご協力を頂いております。

■ システム概要

KURAMA-Ⅱは生活圏における空間線量率を断続的に簡単に計測できるシステムであり、自動車や路線バスなどの移動体に搭載し放射線量の測定が可能です。類似のシステムとは異なり、測定データをネットワーク経由でほぼリアルタイムに共有し、ウェブサイトのマップ上でプロットすることが可能です。生活圏の放射線量が測定できることで目に見えない放射線量を見る「目」として今後の活躍が期待されています。

■ 主な仕様

項目		標準仕様	項目		標準仕様
動作仕様	シンチレータ	CsI (Tl) 13mm×13mm×20mm		測定範囲	0.01μSv/h ～100μSv/h
	検出素子	MPPC(マルチピクセルフォトンカウンタ)		サンプリング時間	1～60秒設定可能
	計数効率	セシウム137 0.01μSv/hにおいて40cpm以上	物理特性	外形寸法	178(W) x 88(D) x 59(H) mm
	エネルギー範囲	30keV～2MeV	所要電力	電源	9～30VDC（シガーソケットに対応）
	エネルギー分解能	8%　セシウム137　662keV	環境仕様	動作温度範囲	-10～50℃

株式会社松浦電弘社

NATIONAL INSTRUMENTS